

内外情勢

調査会

諏訪支部11月懇談会

内外情勢調査会諏訪支部
(支部長・佐久秀幸長野日報
社会長)の11月の月例懇談会
が22日、諏訪市のぬのはんで
開かれ、チベット出身でチベ
ット音楽家のバイマーンジン
氏が「チベットと日本、異
文化を超えて」と題して講演
した。貧苦を乗り越えて大学
を卒業し、日本人男性と結婚
して日本で幸せに暮らす自身
と照らし合わせ、幸せなチベ
ットの子どもたちを増やした
いと、故郷の村々への学校建

チベットと日本、異文化を超えて

チベット音楽家

バイマーンジン氏



教育は人を育てると信じている

設に取り組み歩みを語った。
山の奥地の村で遊牧民一家
の11人きょうだいの9番目と
して生まれ、子どもの頃は電
気もなく、唯一の燃料という
牛のふんを草原で拾い集める

のが仕事だったという。字が
読めずに悔しい思いをし、子
どもには学校に行かせようと
した両親や家族、村の人たち
に支えられ、食べていくのが
精いっぱいの中で小中学校に

通い、村から300キロ離れた
一番近い高校に進学。猛勉強
して中国国立四川音楽大学に
合格したと振り返った。
1994年に来日し、大阪
府吹田市で暮らし、30年近
く。日本では驚きの連続で、
交通の便利さや電気製品に囲
まれた生活に「なんてすごい
世界なの」と感じ、教育や医
療にも感激したと強調した。
義父に「なぜ日本はここま
ですごくよかったのか」と尋ね
たところ、義父は「一生懸命
に人を育ててきた。教育のお
かげやで」と言い切ったこと

を紹介。チベットの現状を日
本と比べて嘆いていると、義
母から「日本も大変な時代が
あったんやで。チベットも何
とかなる。あんたも頑張れ」
と叱咤され、「頑張ろうとパ
ワーが湧いてきた」という。
アルバイトでためた資金で
チベットに小学校を建てたの
を振り出しに、多くの人たち
の応援も受けて10校の学校を
つくったことを説明。通った
子どもは4000〜5000
人になり、「教育は人を育て
ると信じている。1人でも2
人でも、チベットの中でじわ
じわとチベットを変えていく
子どもが増えてほしい」と話
した。
(手塚洋一)